



## 北神山花街道 (キタコヤマハナカイドウ)

津市芸濃町北神山

北神山花街道は、当社からも近い場所に位置し、津市芸濃町北神山（きたこやま）の安濃川沿いであり、春になれば、安濃川をはさんだ“桜のトンネル”が表れ、たくさんのお見物に訪れる人がいます。

- 商号： シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社
- 設立： 1991年6月5日
- 所在地： 〒514-2322 三重県津市安濃町戸島2010番地
- 代表者： 代表取締役社長 川合勝博（兼SDTC副社長 兼SDTC事業本部長）
- 資本金： 9,500万円
- 取引先： シャープ株式会社、シャープディスプレイテクノロジー株式会社
- 事業： 液晶モジュール生産、液晶パネル生産（バックエンドプロセス）  
中小型パネルモニタリング事業、ガラス分断事業、RMA事業、  
リユース液晶事業
- 社員数： 202名（2023年7月1日）（三重工場従事者）

# シャープディスプレイマニュファクチャリング(株)

代表取締役 川合 勝博  
(兼) SDTC 副社長 (兼) SDTC事業本部長  
取締役 橋本 隆治  
取締役 井谷 晶  
(兼) SDTCパネル生産本部 副本部長

工場長 井谷

白山工場  
(石川県 白山市)

(2020年10月～)

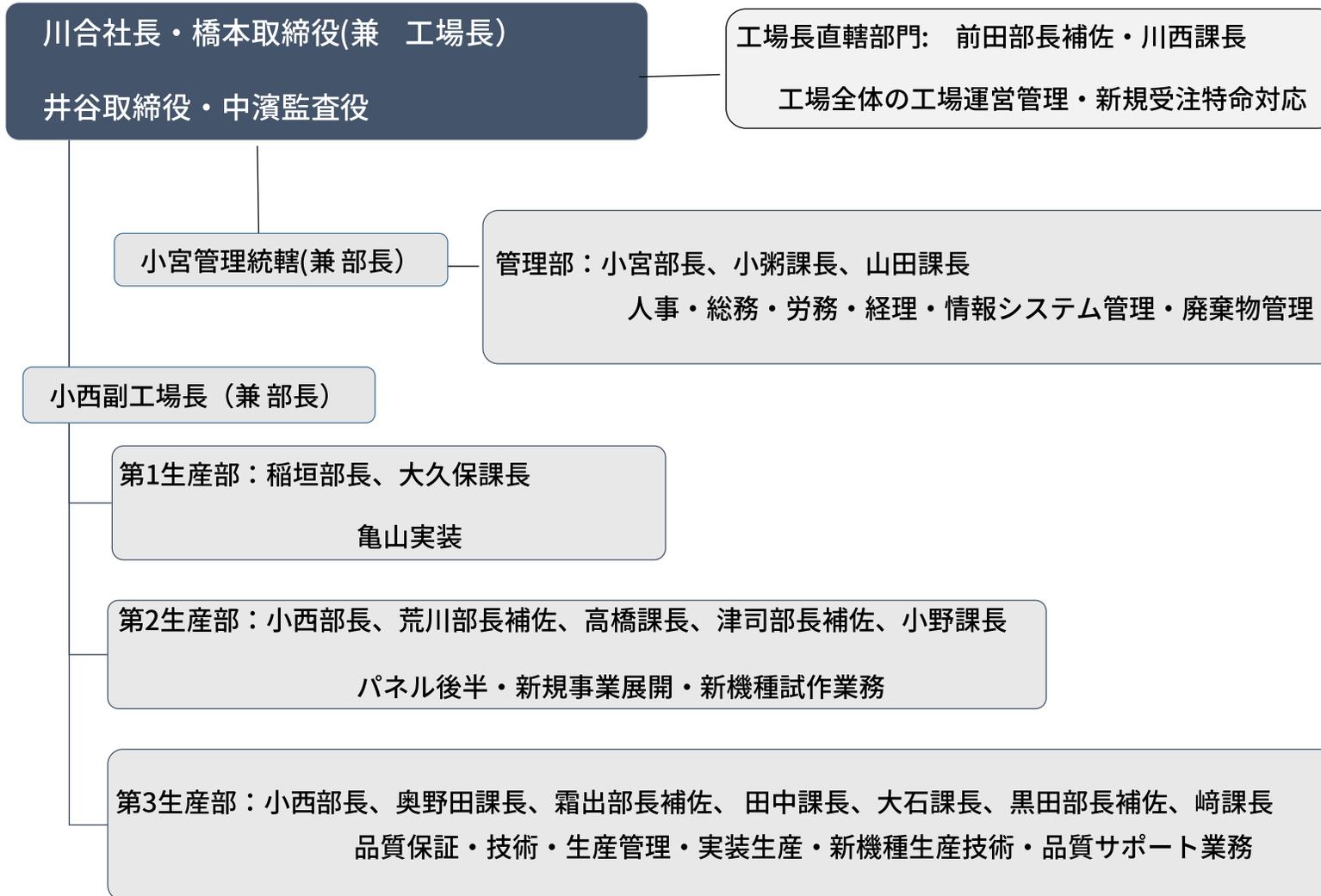


工場長 橋本  
副工場長 小西

三重工場  
(三重県 津市)



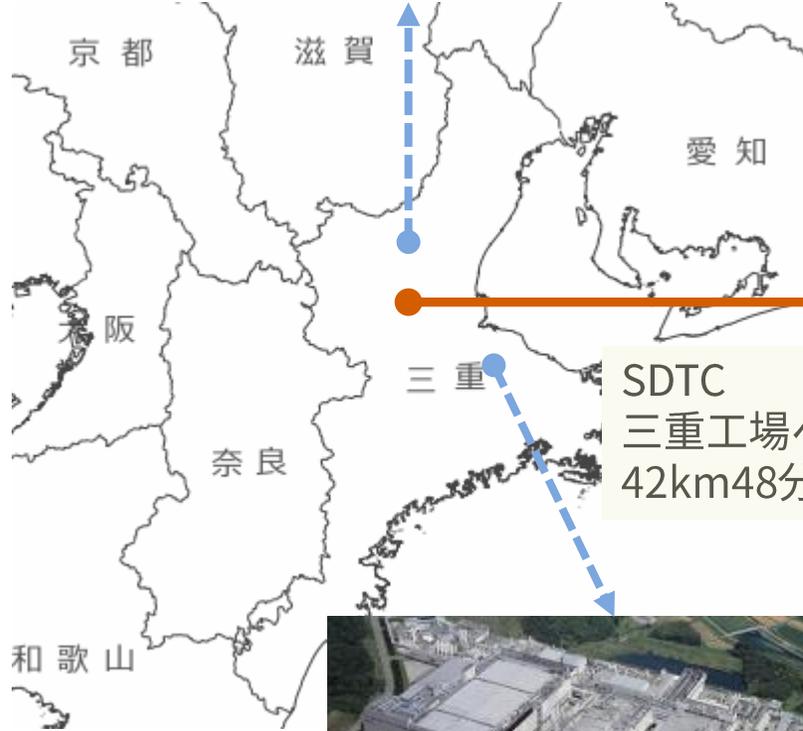
1991年06月	会社設立 12月 シャープ株式会社液晶事業本部と取引開始
1992年04月	第1工場稼働 液晶モジュールの生産開始・・・8.4型ノートPC向
1993年05月	シャープQA認定取得
1995年03月	第2工場稼働
2000年08月	ISO14001 (EC00J0070→JQA-EM5874) 認証取得
2001年10月	ISO9001 (JQA-QM7141) 認証取得
2004年12月	OHSAS18001(WC04J0006→JQA-OH0114)認証取得
2005年06月	第1工場大型TV用モジュール生産開始
2008年04月	社名変更 シャープ広重三重株式会社→シャープ三重株式会社
2008年06月	エネルギー管理指定工場 第2種に移行
2008年08月	統合マネジメントシステム(IMS)運用証明 (JQA-IG0034-01)
2009年01月	シャープ(株)100%子会社化
2009年10月	パネル修正事業導入
2011年12月	中小型パネルモニタリング事業導入
2012年04月	カラーフィルター基板分断事業導入
2013年07月	品質サポート業務開始
2014年10月	品質サポート事業・ガラス分断事業の拡大
2017年10月	パネル後半生産プロセス拡大・・・分断～面取り導入
2018年 6月	国内モジュール実装生産集約
2019年12月	リユース液晶事業開始
2020年10月	シャープディスプレイデバイス(株) (SDTC) 100%子会社化
2020年11月	社名変更 シャープ三重株式会社→シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社
2021年 1月	白山工場稼働開始
2023年 1月	3Dフィルム貼合事業開始



●工場ロケーションサイト



SDTC  
亀山工場へ  
15km26分



伊勢自動車道  
芸濃ICから  
6km10分

SDTC  
三重工場へ  
42km48分



[工場全景]  
敷地面積：59,940m<sup>2</sup>  
第1工場：3,360m<sup>2</sup>  
第2工場：4,560m<sup>2</sup>  
事務棟：1,120m<sup>2</sup>  
倉庫棟：933m<sup>2</sup>

シャープ株式会社  
・ 経営理念 ・ 経営信条 ・ シャープグループ企業行動憲章

シャープディスプレイテクノロジー(株)事業計画

シャープディスプレイマニュファクチャリング(株)  
経営計画 各事業について半期毎の計画立案・  
目標設定

MS施策：目標達成へ取組の具体化

- ・ 月次売り上げの達成
- ・ CSR、労働安全衛生環境への配慮
- ・ PDCAで継続的改善、事業の成長
- ・ MS会議、幹部会などでのモニタリング

経営  
計画  
達成

### MS方針

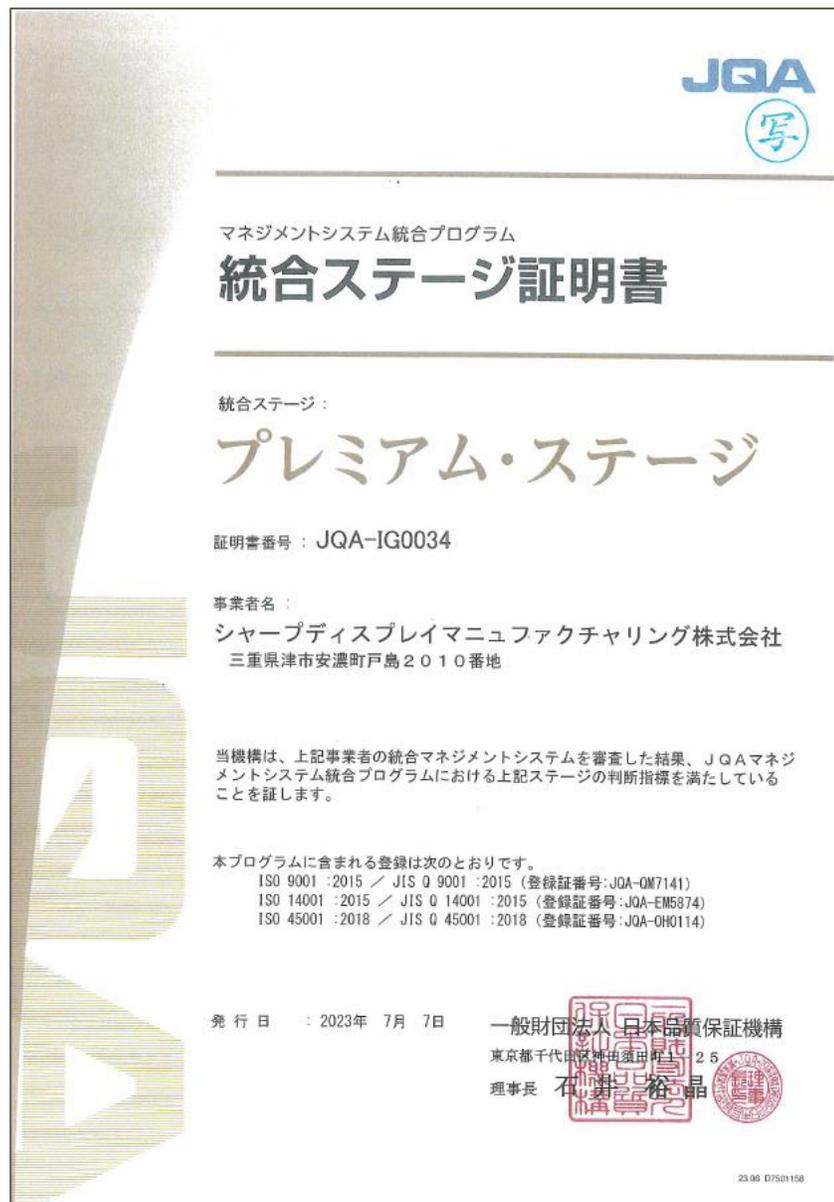
当社は、SDTCグループの一員として『モノづくり』を通じて人と社会に寄り添い、広く世界の文化と福祉に貢献する企業を目指します。  
モノづくりにおいては『ダントツ品質』、『サプライチェーンの安定化』を追求することで国内生産工場のプレゼンスを高める取り組みを行います。  
また、新しい事業変革に向けて『マインドチェンジ』していくことを全員で共有し、シャープグループ企業行動憲章に基づいた事業活動を実践致します。

1. お客様の期待にお応えすべく、安全性・ダントツ品質・信頼性を追求し環境に充分配慮した最適な製品、最適なサービスを提供します。  
常に事業活動に革新性を盛り込み、お客様の期待を超える製品とサービスを提供し、従業員・協力会社社員が協力して地域社会への企業責任を果たします。
2. 安心して生活出来る地球環境を維持した経済活動を実施し、地域社会と共存した環境に負荷をかけない事業活動を継続してまいります。  
事業活動における環境側面を環境影響評価にて明確にし、環境汚染予防、環境保護の為の取り組みを策定し、継続的な改善活動を推進します。
3. 労働者の危険防止、健康障害を防止するため、労働者の参加、協議によるリスクアセスメントと『プロアクティブ』な活動の仕組みを活用することで労働災害『0』を実現し、安全で健康的、活力溢れる企業風土の醸成を行います。
4. 管理、運営業務に関する役割の責任と権限を明確にし継続的に改善を行う企業風土を醸成し、従業員・協力会社社員とご家族、お客様に安心してもらえる事業活動を推進します。
5. 事業活動に関する法規制及び、その他の要求事項（協定等）を遵守します。

上記方針内容に基づいた具体的取り組みは、MS施策として目標設定(P)し、目標達成に向けた組織の構築と必要人材教育・育成を継続して行う取り組みを実行(D)し、目標達成状況を適時チェック(C)し、継続的改善(A)を行います。  
MS方針更新時、組織変更時等は、必要に応じて取り組み内容を見直し改訂します。

このMS方針は、全部門に掲示し、シャープの再生と成長のために設定され、自らも宣言した「行動変革宣言」と合わせ、全従業員に周知・理解を求め、協力会社についても伝達し、周知・理解をお願いします。  
また、その他のステークホルダーにも当方針を公開し、コミュニケーションを図るとともに、事業活動を通して貢献できるよう推進します。

2023年4月1日  
シャープディスプレイマニュファクチャリング(株) 三重工場  
取締役 橋本 隆治



JQA(日本品質保証機構)が認定を行っている統合マネジメントシステム審査において当社は、『プレミアムステージ』の判断指標を満たしております。

『品質』・『環境』・『安全(労働)』について高いマネジメントを追求しながら、事業活動を推進しております。

当社は、下記マネジメントシステム登録認証を取得しております。

ISO 9001  
ISO 14001  
ISO 45001

● マネジメントシステムプログラム認証

写

## ISO 9001 マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-QM7141

---

登録事業者：  
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社  
三重県津市安濃町戸島2010番地






当機構は、上記事業者の品質マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 9001 :2015 / JIS Q 9001 :2015

登録日 : 2001年 10月 5日  
登録更新日 : 2022年 8月 7日  
有効期限 : 2025年 8月 6日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構  
東京都千代田区神田須田町1-2-5  
理事長 小林 憲明

本証には付属書がありますので、合わせてご覧ください。

**JQA** Partner of **IQNet** 21.02 01501120

写

## ISO 14001 マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM5874

---

登録事業者：  
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社  
三重県津市安濃町戸島2010番地






当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 :2015 / JIS Q 14001 :2015

登録日 : 2007年 8月 10日  
登録更新日 : 2023年 8月 7日  
有効期限 : 2026年 8月 6日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構  
東京都千代田区神田須田町1-2-5  
理事長 石井 裕晶

本証には付属書がありますので、合わせてご覧ください。

Member of **JQA** **IQNet** 23.08 017501205

写

## ISO 45001 マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-OH0114

---

登録事業者：  
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社  
三重県津市安濃町戸島2010番地




当機構は、上記事業者の労働安全衛生マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 45001 :2018 / JIS Q 45001 :2018

登録日 : 2007年 8月 10日  
登録更新日 : 2021年 8月 7日  
有効期限 : 2024年 8月 6日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構  
東京都千代田区神田須田町1-2-5  
理事長 小林 憲明

本証には付属書がありますので、合わせてご覧ください。

**JQA** 20.08 017501196

## ●環境設備による取り組み対応①

## チラーユニット設備（空調設備）更新（継続導入）

当社の工場は、チラーユニット（冷温水製造機器）を用いて空調管理を行っております。その設備のなかでも、チラーユニットは当社電力量の中でも非常に使用電力が多い機器であります。今回、2台目のチラー設備をインバータのトップランナー機器に更新し、電力削減を図り省エネルギー化して、運転稼働の管理/監視しています。



## ●環境設備による取り組み対応②

空気調和機のファンモーターインバータ化による電力削減  
(AHU:エアハンドリングユニット)

AHU:エアハンドリングユニットは、大きなケーシングの中に送風機、熱交換器、加湿器フィルターが収まっています。

調和させた空気を生産工程へ送り込み、温度・湿度管理を行います。送風機に利用しているモーターをインバータ運転させることにより、電力削減が図れます。各工程エリアごとに送風機を使用しているおり、順次モーターのインバータ工事を行い省エネルギー化を図っております。

## 夏場にライトダウンを実施して消費電力削減



(出典：環境省)

- 社内独自の活動として、「ライトダウン」を実施しました。令和4年7月7日、7月21日および8月18日の3日間、駐車場や工場内にあるハイウェイ灯を消灯し、消費電力の削減によりCO<sub>2</sub>削減を図りました。

●省エネルギー活動②

ニチバン テープの巻芯 E C O プロジェクト参加



第13回 ニチバン巻芯ECOプロジェクト

# テープの巻芯を集めて 緑の地球を守ろう!

みんなの送ってくれた「巻芯」が、ダンボールに再生されたり、森の植樹活動に役立てられます。

## 感謝状

第13回 ニチバン巻芯ECOプロジェクト  
シャープディスプレイマニュファクチャリング株式会社 殿

For its active participation and voluntary involvement in the implementation of Nitchiban Recycle Project wherein proceeds will be utilized in the rehabilitation of mangrove areas in Negros Occidental through the effort of Iwakano Japan-Philippines Partnership for Environmental Protection. This is our token of appreciation for your willing effort in environmental conservation and international cooperation.

Eugenio Jose "Bong" LASON  
DIRECTOR of Region Occidental, Philippines  
PHILIPPINE PARTNERSHIP FOR ENVIRONMENTAL PROTECTION

環境NGO イカオ・アコ代表 後藤順久

この度は、第13回ニチバン巻芯ECOプロジェクト「テープの巻芯を集めて緑の地球を守ろう!」にご参加いただき、誠にありがとうございました。皆さまのご協力により集められた数多くの巻芯のおかげで、ダンボールへの再生、ファミリーゼンのマングローブの植樹、そして国内での植樹という形で、地球環境保護活動の一環を担うことができました。皆さまのご協力に対し本状を返り深く感謝の意を表します。

ニチバン株式会社 代表取締役社長 高津敬明  
2023年2月

ニチバン巻芯  
ECOプロジェクト  
デザインコンペ  
優秀賞作品

Paralym Art®  
制作：チインくんさん  
作画者：みんなてつくる平和な世界

・社内で大量に使用しているOPPテープの巻芯を、廃棄することなく、資源として再利用し、マングローブの植樹活動に役立てるよう、「ニチバンECOプロジェクト」に参加いたしました。おかげで感謝状までいただくことができました。今後も、継続して推進する予定です。

●環境影響推移（エネルギー使用量原油換算推移）

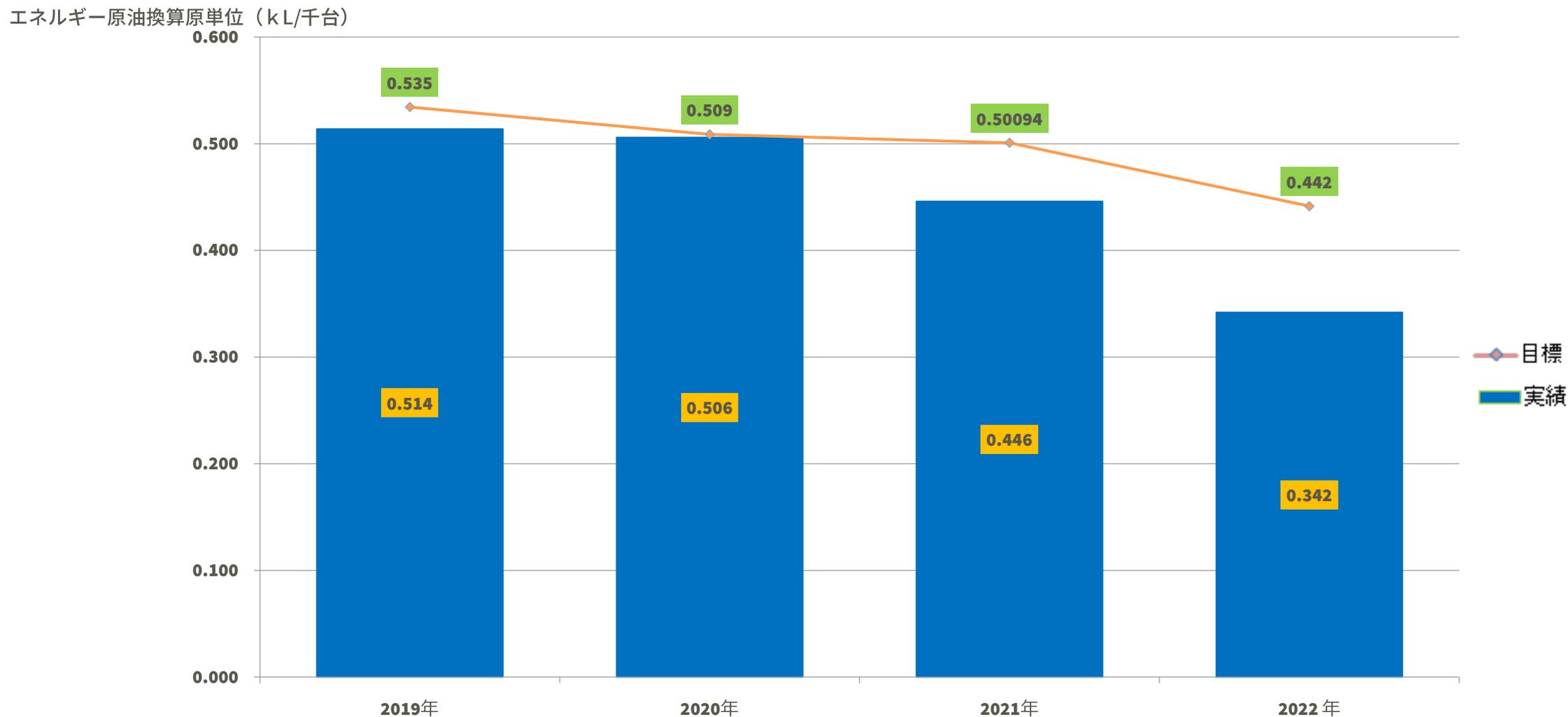
空調機器をトップランナーに更新、機器の省電力化を実施したが、生産台数増により電気使用量が増加し、エネルギー使用量は多少増加している状況でした。

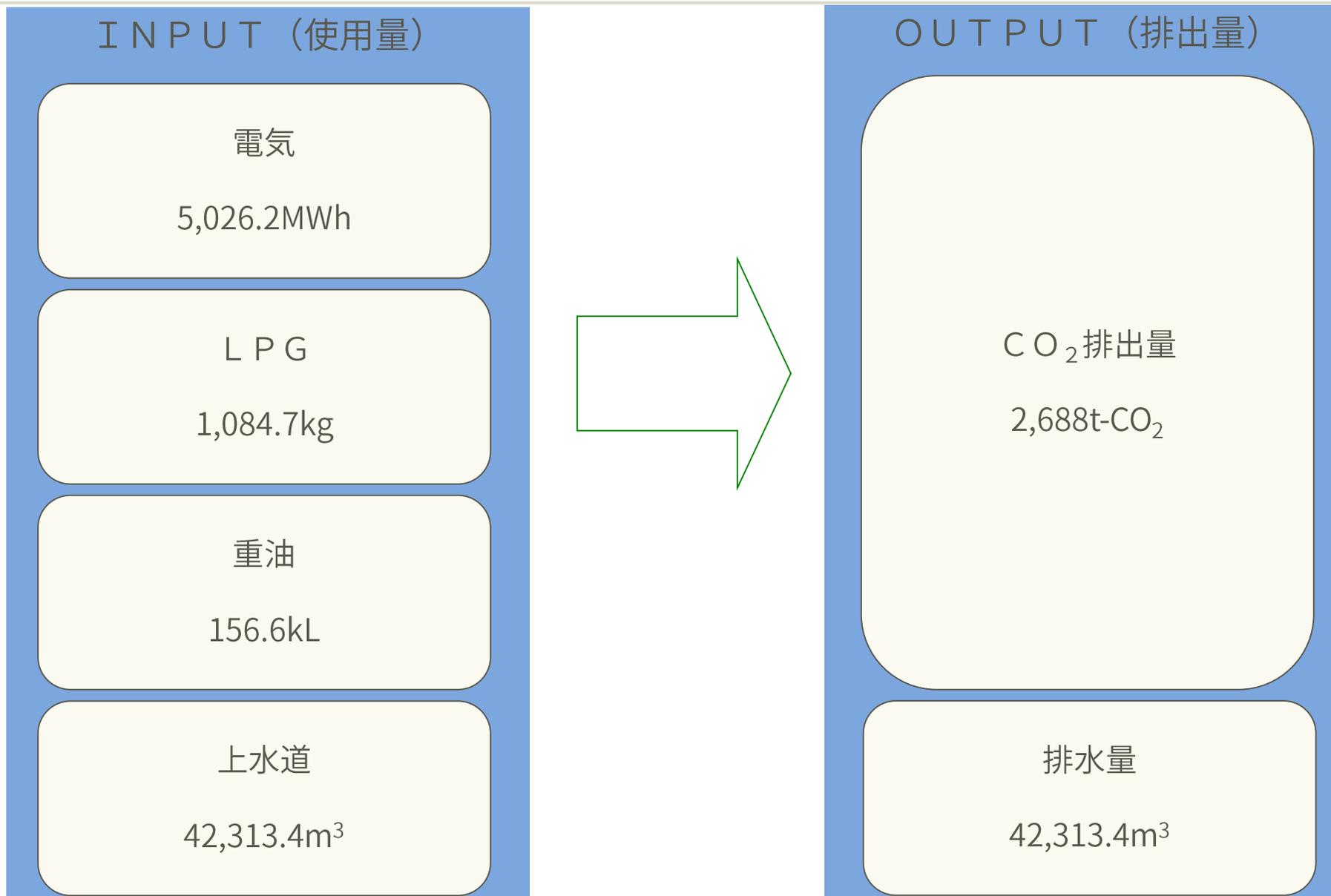
エネルギー原油換算量（kL）



# ●環境影響推移 (エネルギー使用量原油換算原単位推移)

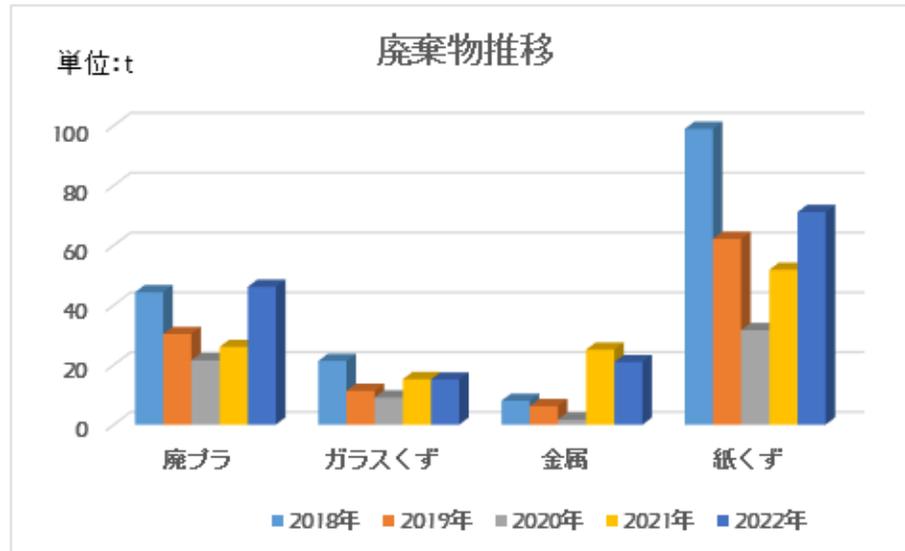
エネルギー原単位は、電気使用量は増加したものの生産台数変動増加により減少傾向となっております。





# ●環境影響への推移 (総廃棄物と有価物化率の増減)

2022年度は生産台数に比例して総廃棄物排出量は増加し、産業廃棄物及び有価物共に増加傾向に推移、有価物は、廃プラ、紙くずの排出が多い結果となり、前年比156.6%となりました。有価物化率としては62.7% (2021年116.7t →2022年169.7t) の結果となりました。



2021年度総排出量実績 172.6 t

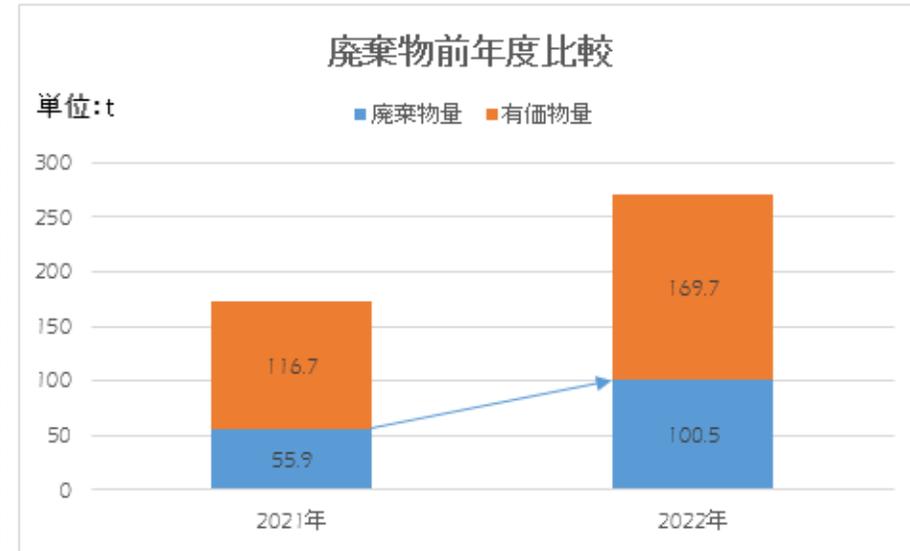
対前年度比 廃プラ 177.2%  
ガラス屑 99.4%  
紙屑 137.2%



2022年度総排出量実績 270.2 t  
(前年度比 156.6%)

年度	最終処分率	評価
2019	0.1%以下	ゼロエミッション達成
2020	0.1%以下	ゼロエミッション達成
2021	0.1%以下	ゼロエミッション達成
2022	0.1%以下	ゼロエミッション達成

2023ゼロエミッション継続・取組中



●環境法令順守への取り組み

当社では法的な規制値よりも厳しい自主管理値を設定し、周辺地域に影響を与えない様、取り組んでいます。

●各種環境測定結果

◎・・・管理基準値内

分類	項目	単位	規制値		22年度実績 (最大値)	参考指標値 (農業用水基準)	判定
			法(国・県)	自主管理値			
騒音	昼	dB	60 以下	50 以下	47	-	◎
大気	窒素酸化物	mg/l	-	130 以下	100	-	◎
	ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>	0.3 以下	0.05 以下	0.013	-	◎
水質	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	6.0~8.4	6.4~7.2	6.0~7.5	◎
	生物学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	20 以下	20 以下	2.7	-	◎
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	160 以下	8 以下	4.2	6 以下	◎
	浮遊物質 (SS)	mg/l	70 以下	50 以下	4.0	100 以下	◎
	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/l	5 以下	1 以下	1未満	-	◎
	大腸菌群数	個/ml	3000 以下	2400 以下	300	-	◎
	窒素含有量	mg/l	10 以下	10 以下	0.8	1 以下	◎
	リン含有量	mg/l	1 以下	1 以下	0.05未満	-	◎

地震/火災、避難訓練（2022年10月14日実施）

- ・ 東南海地震発生（震度6）により、食堂にて火災発生を想定し、訓練を行いました。



初期消火訓練



消火器訓練

### 工場周辺のクリーン活動（2023年 5月28日実施）

- ・社会貢献の一環として 地域住民の方々と共に定例となった環境美化の日に参加し、工場周辺のゴミ拾いなどを通じ地域住民とのコミュニケーションを図りました。道路などの空き缶・紙くず・ビニールゴミなどを対象として清掃活動を実施しております。当社、従業員及び協力会社従業員の積極的な参加等、社会貢献に取り組んでいます。



**SHARP**

Be Original.